

日本初の「カレッジリンク型シニア住宅」を創設

2008年度から高齢者向けシニア住宅の入居者に教育プログラムを提供
～アクティブシニア世代と若い世代が集う新たなキャンパス像「知縁コミュニティ」の実現に向けて～

関西大学文学部
財団法人社会開発研究センター
株式会社アンクラージュ

関西大学文学部（大阪府吹田市、学部長：芝井敬司）、財団法人社会開発研究センター（東京都港区、理事長：村田裕之）、株式会社アンクラージュ（兵庫県尼崎市、代表取締役社長：小中村政廣）の三者は、アンクラージュが神戸市灘区に建設中のシニア住宅（高齢者向け共同住宅）「アンクラージュ御影」の入居者を対象に、関西大学で科目等履修生、聴講生、社会人学生として学ぶ「オンキャンパス・プログラム」、同住宅で開講される「オンコミュニティ・プログラム」を実施することに合意し、覚書を取り交わした。

1. 本件の特徴

大学と住宅運営者との協力で展開される「カレッジリンク型シニア住宅」事業は、すでにアメリカで先行して始まっているが、日本で本格的に実施されるのはこれが初めての事例となる。

2. 背景と今回の三者覚書の意義

アメリカの先行事例によれば、こうした「カレッジリンク型シニア住宅」の入居者は、他の高齢者施設と比べ総じて生活の満足度が高く、寝たきりになる割合も低く、生活の充実度が極めて高いとされている。十分な時間を生かして新しい知識を吸収することが日々の生活にリズムと張りを与えるとともに、若い大学生と触れ合い学ぶことが、高齢者の生活を若く生き生きとしたものに保たせている。また、キャンパスにおいては、若い学生の相談役として人生経験を生かせるなど、学生と高齢者の双方にとってメリットがある。こうした点で今回の試みは、若い世代と隔離されがちな従来の日本の「老人ホーム」が持っている既存概念を、完璧に打ち崩すものとなる。

本来、高等教育機関としての大学は、年齢で区切られた人生のある段階に一律に通過する場所ではなく、年齢にかかわらず「知的好奇心」をもつ人の縁で結ばれた「知縁コミュニティ」である。キャンパスが知のネットワークの結節点として有効に機能することで、日本における大学のイメージが大きく転換し、大学が本来的な知の拠点として再生することが大いに期待される。

3. 今後の予定と三者の役割と体制

具体的なプログラムの提供は2008年度から開始するが、これに先立ち、2006年度は関西大学千里山キャンパスで、「アンクラージュ御影」の入居予定者を対象にシンポジウムや公開セミナーを開催し、2007年度には10程度の講座で構成される「プレコース」を開設する。

覚書を締結した三者の役割は次のとおりである。

(1) 関西大学文学部

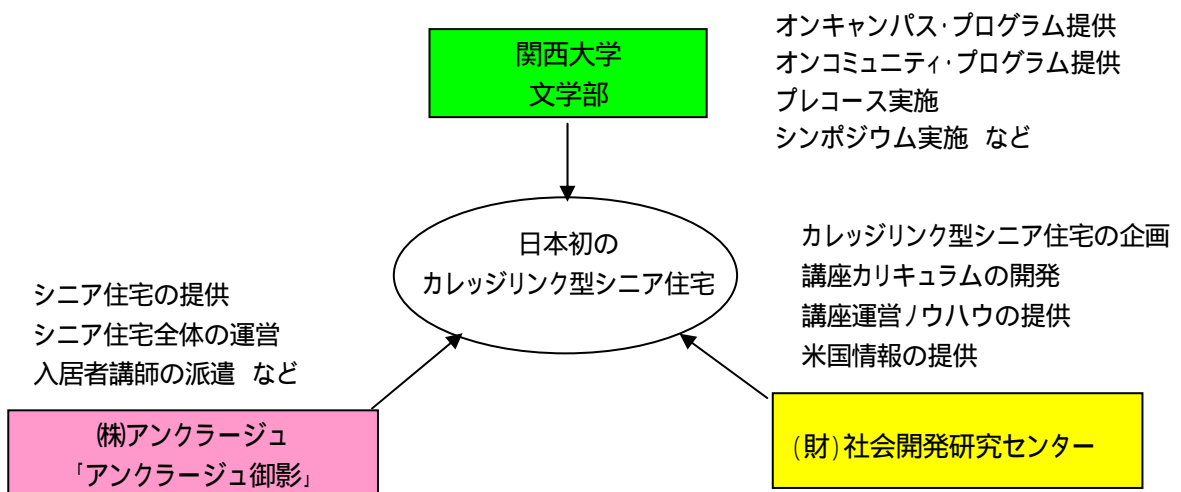
オンキャンパス・プログラム提供
オンコミュニティ・プログラム提供
プレコース実施
シンポジウム実施 など

(2) 財団法人社会開発研究センター

カレッジリンク型シニア住宅の企画
講座カリキュラムの開発
講座運営ノウハウの提供
米国情報の提供

(3) 株式会社アンクラージュ

シニア住宅の提供
シニア住宅全体の運営
入居者講師の派遣 など



関西大学文学部と社会開発研究センターが「カレッジリンク型シニア住宅」で実施する教育プログラム

1. オンキャンパス・プログラム

- (1) 文学部または大学院文学研究科の科目等履修生または聴講生としての受け入れ
アンクラージュ御影の入居者を対象に、科目等履修生または聴講生として開講クラスに希望者を受け入れる。
- (2) 文学部または大学院文学研究科の社会人学生としての受け入れ
アンクラージュ御影の入居者を対象に、試験、面接、研究計画書の審査等の条件で、社会人学生（あるいは3年次からの社会人編入学生）として希望者を受け入れる。
- (3) 各種の公開講座、講演会など大学主催行事への参加
アンクラージュ御影の入居者に、大学が提供する各種の講座、講演、行事の案内と自由な参加を認める。

2. オンコミュニティ・プログラム

- (1) アンクラージュ御影での講座等の実施
アンクラージュ御影の入居者を対象に、当該施設内で講座等を提供し、講師の派遣や指導者の斡旋を行う。

3. プレコース

- (1) プレコースの実施
文学部と社会開発研究センターが協力して、アンクラージュ御影の入居予定者を対象に、2007年度に千里山キャンパスで10程度の講座を「プレコース」として実施する。

4. シンポジウム等

- (1) 記念シンポジウム
2006年9月11日（月） 関西大学千里山キャンパスで、記念シンポジウムを開催する。
- (2) 公開セミナー
記念シンポジウム以降、2007年4月までに、3回程度公開セミナーを実施する。

高齢者向けシニア住宅「アンクラージュ御影」の主な概要

所在地	神戸市灘区土山町90-71、他
交通	阪急神戸線「御影」駅より約1500m（専用シャトルバスにて巡回予定） 阪急神戸線「六甲」駅より約1900m（専用シャトルバスにて巡回予定）
敷地面積	22,265.90㎡（6,735.4坪）
延床面積	31,039.78㎡（9,389.5坪）
用途	高齢者向け共同住宅（220戸）、有料老人ホーム（63戸）、保育所
平均居室面積	高齢者向け共同住宅：67㎡、有料老人ホーム：24㎡
運営主体	株式会社アンクラージュ
開設予定	2008年春頃（現在、建築工事中）
サービス内容	食事サービス、生活サービス、医療サービス、介護サービス、学習サービス、他
主な共用施設	多目的ホール、プール、フィットネスルーム、ビジネスセンター、ワークショップ、 ダイニング、バー、ティーラウンジ、スパゾーン、ミニショップ、医務室、保育所（プ リスクール）、カンファレンスルーム、クラスルーム、屋上庭園、屋上菜園、バーベキ ュー広場、パーゴラ カレッジリンクに関するオンサイトプログラムについては、主として「カンファレ ンスルーム」「クラスルーム」「多目的ホール」等にて対応予定



株式会社アンクラージュ 会社概要

商号	株式会社アンクラージュ
本店	尼崎市武庫之荘東1丁目1番16号
設立	2005年10月29日
資本金	1億円
株主	(株)池田銀行、清水建設(株)、(株)タケツ
役員	代表取締役社長：小中村政廣 代表取締役副社長：坂田 建一
事業内容	有料老人ホーム等の高齢者介護施設の建設および管理運営 有料老人ホーム等の高齢者介護施設の管理運営に関する企画 有料老人ホーム等の高齢者介護施設の管理運営に関するコンサルティング 高齢者向け住宅およびシニア住宅の建設および管理運営 高齢者向け住宅およびシニア住宅の管理運営に関する企画 高齢者向け住宅およびシニア住宅の管理運営に関するコンサルティング 介護保険法による居宅サービス事業、他
問合せ先	株式会社アンクラージュ 広報室(川端) E-mail kawabata@taketsu.com Tel 06-6436-2786

財団法人社会開発研究センター 概要

設立年月日	2002年7月(旧社会開発総合研究所は1973年3月設立)
基本財産	1億円
主務官庁	経済産業省
所在地	東京都港区赤坂4丁目8番20号 ASOビル6階
役員	理事長：村田 裕之(村田アソシエイツ 代表/東北大学 特任教授) 専務理事：藤村 俊久(財団法人日本総合研究所 監事)
事業内容	社会システムおよびその変動に関する理論的研究、社会システムに関する諸指標の実証的調査研究 社会開発政策課題の探求と解明に関する科学的手法の調査研究 社会開発産業の形成、展開技術の研究、開発 地域開発に関する診断、地域開発計画に関するシステムの研究開発 地域・都市に関する資料情報の検索、加工、提供 教育研修等に関する振興事業 前各号に掲げる事業の受託 地域・都市に関するデータベースの設置、運営 地域開発に関する研修会、講演会等の開催、その受託 その他前各号の事業に付帯する事業